

1年生15名が立教大学経営学部国際経営学科EAP1に参加

恒例となっている立教大学のEAP (English for Academy Purpose)の授業に、今秋も1年生15名が参加させていただきました。

授業参加前に学食で腹ごしらえ。

事前に松本茂先生からいただいた情報により、男子は全員カツ丼を注文。女子は昨年卒業した長生高校の先輩方の推薦メニュー、本日のパスタなどを楽しみました。屋外のテーブルで小春日和を満喫しながらのランチ。この後の緊張は、誰も想像していなかったでしょう。



いよいよ授業開始。事前に課せられていた課題文は4種類。

- ① Dearth of Candor From Japan's Leadership 正直にものを言えない日本の指導者
2011年3月16日付 ニューヨークタイムズ記事
- ② Japanese business isn't working: What would Shima do? Manga star's success offers valuable lessons for today's corporate warriors in dark times
沈滞する日本のビジネス 島耕作ならどうするか? 2012年6月25日付 ジャパンタイムズ記事
- ③ Japan's Lost Art of Innovation 日本が失った「発想する会社」
2012年10月10日付 ザ・ディプロマット記事
- ④ How Sony failed to keep up with the tech revolution ソニーが技術革新に失敗した訳
2012年6月25日付 www.livemint.com 記事



英語そのものの難しさに加えてまだまだ社会に目を向けていない高校1年生にとってはずいぶんと重たい課題でしたが、全員十分に予習し大学生とのディスカッションに加わる準備ができていました。

自分の担当課題である上記④の要約をアイコンタクトを保ちながら発表し、その後この内容について自分がディスカッションをリードするという活動でした。初めは緊張からあまり話せませんでしたが、同グループの大学生の十分なサポートにより、討論に加わることができるようになりました。

90分がとても短く感じられたようです。授業終了後の晴れ晴れとした顔に、参加者の満足感があふれ出ていました。

その後、新装した図書館で「80日間世界一周」の初版本等を見学。またノートパソコンが何百台も貸し出され、学生たちがレポート作成している様子に接し「大学ってすごい！」と強く印象付けられたようでした。

